



取扱説明書

このたびは、SANWA 2.4GHz RX-492i レシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。
本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

注意 安全に使用していただくための注意事項

- RX-492i(2.4GHz帯スペクトラム拡散方式レシーバー)について、本製品はFH5/FH5U対応の送信機専用です。その他のAM/FM/2.4GHzプロボには使用できません。
- RX-492iは1/10以下の電動(EP)カー専用です。この他、GPカー等への使用はしないでください。
- コード AUX対応の送信機の機能を使用してSSLに対応した機器の設定値を送信機からダイレクトに変更が可能です。
- SXR、SUR、SSR、SHRモードでアナログサーボを使用すると正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSXR、SUR、SSR、SHRモードでアナログサーボを使用しないでください。(アナログサーボ：Hyper ERGシリーズ、RS-995、SX-165T、SPECシリーズ、SRMシリーズ)
- SXR、SUR、SSR、SHRモードではBL-RACER、BL-FORCE、BL-sport、F3300、F3000、F2200、F2000、SBL-01/02/03CRなどのスピードコントローラーは動作しません。必ずNORモードでご使用ください。
- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数帯ではありません。この周波数帯はISM(産業、科学、医療)バンドと共用されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意をして使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行(航)してください。
- 日本国内では、技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていない送信機やモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会ではラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。



例) 技術適合証明ラベル

2.4GHz 各部の名称とアンテナ部の取扱いについて

アンテナ受信部

LED

注) 受信機LEDの点灯によって受信機の動作状態がわかるようになっています。

SSL/BIND: SSL/BINDポート
注) BIND/SSLポートにはBINDプラグや受信機バッテリー、SSL対応機器以外は接続しないでください。

CH4: 4ch AUX2
CH3: 3ch AUX1
CH2: TH/スロットル (ESC/スピードコントローラー)
CH1: ST/ステアリング

BINDプラグ

ケーブルカバー

受信機LEDの状態

電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	—
BIND(バインド)設定中	青点滅、青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青&赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後に電波を受信できない状態	赤点灯

※2台の送信機とBINDをしていると2秒周期でLEDが青色点滅します。
※各チャンネルは三和純正コネクタに合わせて設計されております。純正以外のコネクタなどを無理に差し込まれるとケースの破損や接触不良などトラブルの原因となりますのでコネクタの取り扱いには十分にご注意ください。

受信機LEDの状態

※受信機の搭載方法は裏面を確認してください

2.4GHz SSLシステムについて

- コード AUXに対応の送信機の機能を使用してSSLに対応した機器の設定値を送信機からダイレクトに変更が可能です。
- コード AUXを使用する場合には、あらかじめSYSTEMメニュー内のAUX TYPEでAUX1とAUX2の設定を[NOR]から使用する機器にあわせて[CODE5/CODE10]に変更してください。
- ※ESC/スピードコントローラーとサーボを併用してSSLで設定変更する場合は別途ショートYハーネスをご用意ください。
- コード AUXについては弊社HPのSSLシステムの説明をご覧ください。(www.sanwa-denshi.co.jp)

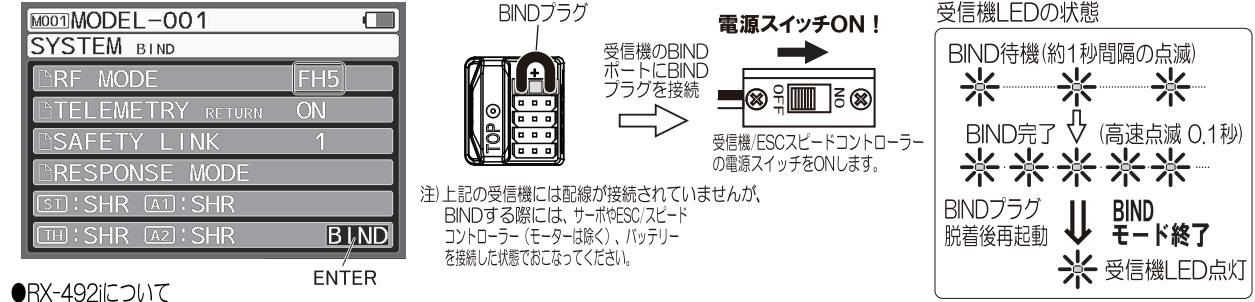
2.4GHz インジケータ機能について

- RX-492iはインジケータ機能対応の送信機と組み合わせることで送信機から受信機へ送信された電波の受信状態を送信機で確認することができます。受信状態を確認することによって機器の故障や車体への受信機の搭載方法を確認することができます。送信機がインジケータ機能に対応しているか弊社HPをご覧ください。送信機の説明書に沿って送信機の設定を変更してください。インジケータ機能非対応の送信機はインジケータ機能を使用することができません。

2.4GHz BIND(バインド)の設定方法

注意 ■出荷時にはBIND設定されていませんので、ご使用になる前に必ずBIND設定をおこなってください。
■必ずBIND設定した送信機と受信機のセットでお使いください。

- ※BIND(バインド)とは：2.4GHz送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもって、そのID番号を受信機に記憶させること(BIND/バインド)です。BIND設定した送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。
- ①送信機のBIND機能の[RF MODE]の設定が《 FH5/FH5U 》に設定されていることを確認します。
- ②送信機のパワースイッチをONにして、使用機器にあわせてレスポンスモード等の設定をおこない、[BIND]をエンター操作してバインドモードにします。
- ③RX-492iのBIND/SSLポートにBINDプラグを接続して、受信機側の電源SWをONにします。
- ※BINDの際は空いているコネクタに電源を接続してBIND作業をおこなってください。(EPカーの場合はスピードコントローラーをCH2に。)
- ④RX-492iのLEDがゆっくりとした点滅から高速点滅になったらBINDプラグを抜いて、RX-492iのBINDモードを終了してRX-492iを再起動します。(受信機側の電源をOFF⇒ON)
- ⑤送信機のBINDモードをタッチパッドのエンター操作/バック操作で終了させてください。BINDが正しくおこなわれると受信機LEDが点灯しますのでサーボ等を動作させてBINDが終了したことを確認してください。
- ※BIND設定の途中で受信機LEDが消灯してしまったり、BIND設定が完了しない場合は②の作業からやり直してください。



- RX-492iについて
- ・RX-492iは2つのIDを記憶させることが可能です。耐久レースなどで個々の好みのポジションや設定にあわせて送信機と組合せが可能となりました。2台の送信機固有のIDを受信機に記憶させること(BIND/バインド)で、バインドした2台の送信機との動作が可能になります。(注：2台の送信機と同時に動作できません。)対応する送信機は三和HPをご覧ください。
- ・スロットルのニュートラル位置や動作量は個々の送信機によって異なる可能性があります。バインドした送信機の組合せによって、それぞれの送信機の設定値が同じにならない場合があります。車体のリンケージに合わせてそれぞれの送信機で調整をおこなってください。
- ・フェールセーフの設定は必ずそれぞれの送信機でおこなってください。
- ・BINDする2台の送信機のRF MODEとSAFETY LINK番号とレスポンスモードは全て同じにしてください。
- ・同じ設定になっていないと、2つの送信機でのBINDがおこなえません。
- ・2台の送信機とBINDが完了したときは、0.2秒間隔で受信機のLEDが高速点滅します。
- ※違う設定の送信機を2台目の送信機としてBINDした場合には1台目にBINDした送信機のID(識別番号)は消去され書き込まれます。
- ※3台目のBINDをおこなうと、1台目にBINDした送信機IDが消去されます。

注意 安全に使用する際の注意事項

- RCカーに搭載したときに、アンテナ受信部なるべく高い位置になるように搭載してください。
- 受信機のアンテナ受信部はモーター、ESC/スピードコントローラー(配線も含む)から離して、TOPの表記を上に向くように搭載してください。
- 走行中の振動でコネクタが抜けると、暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクタは確実に接続してください。
- 受信機は振動、衝撃、水に弱いので、防振/防水対策を確実におこなってください。対策を怠ると暴走の危険があります。
- 受信機の取り付けはカーボンシャシー、金属シャシーから離して、車体の中央部を避けて取り付けてください。
- RCカーに搭載している金属パーツ同士が接触すると、ノイズが発生し受信機性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
- 電動RCカー用のブラシモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
- サーボには必ず付属のアブソーバーゴムを使用してください。振動がサーボに直接伝わり、サーボトラブルが発生し暴走の危険があります。
- 送信機、受信機、サーボ、ESC/スピードコントローラー等のプロボパーツは、SANWA純正品をご使用ください。
- ※SANWA純正部品以外の組み合わせにより発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

2.4GHz 修理について

調子が悪いときはまずチェックを！
修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上、本社サービスへ修理依頼してください。
また、ご質問、お問い合わせがありましたら、本社サービス/東京営業所にて受付けております。
電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝祭日を除くAM9:30~12:00、PM1:00~5:00です。

修理依頼カード このカードに故障状況を詳しくご記入のうえ、必ず製品と一緒に送ってください。

フリガナ
お名前 _____ 電話 () _____

〒 _____

ご住所
故障状況 _____



三和電子機器株式会社

本社/東大阪市吉田本町1丁目2-50
〒578-0982 TEL072(964)2531

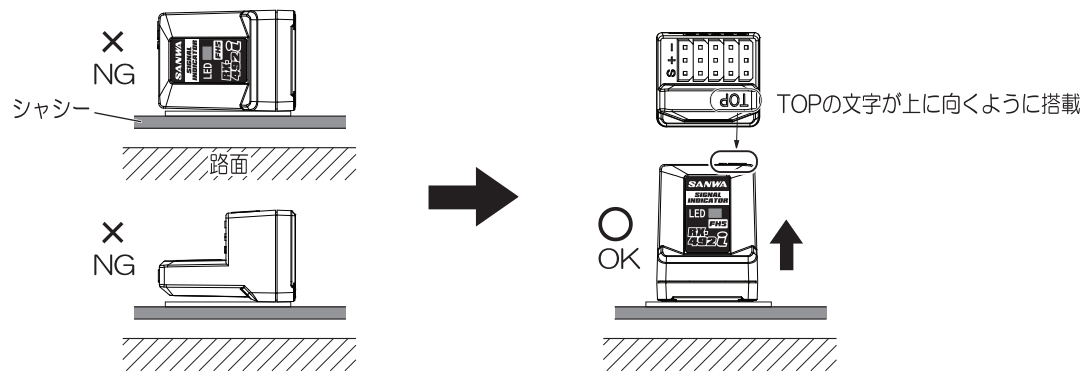
東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1(KKKビル)
〒111-0053 TEL03(3862)8857

本社サービス/東大阪市吉田本町1丁目2-50
〒578-0982 TEL072(962)2180

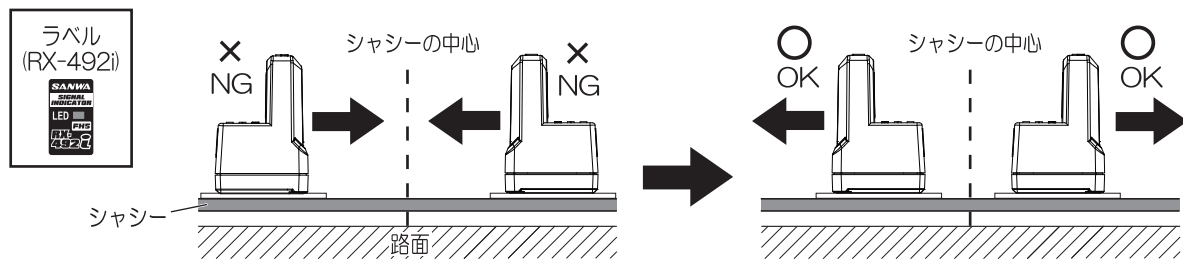
⚠ 1/10以下のEPカーへの搭載方法

RCカーに搭載する際は下図のようにシャシーに対してTOPの表記が上に向くように搭載してください。それ以外の搭載方法では受信機の性能に悪影響をおよぼす可能性があります。

- 受信機の取り付け面
RX-492i上面のTOPの文字がシャシーの上に向くように搭載してください。



- 受信機の取り付け向き
RX-492iのラベルがシャシーの外側に向くように搭載してください。

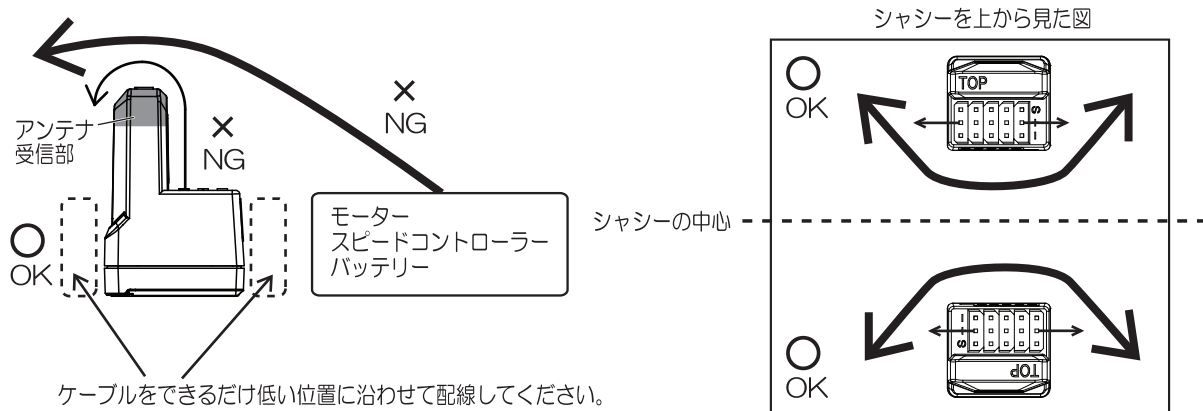


⚠ 受信機搭載時のケーブルの配線方法

受信機にサーボやスピードコントローラーを接続するケーブル又は、モーター、バッテリーのケーブルは受信機の上部に配線しないようにしてください。受信機の性能に悪影響をおよぼす可能性があります。

- 下図のようにケーブル類の位置に注意してケーブルを配線してください。

モーター、バッテリーのケーブル
サーボ、スピードコントローラーのケーブル

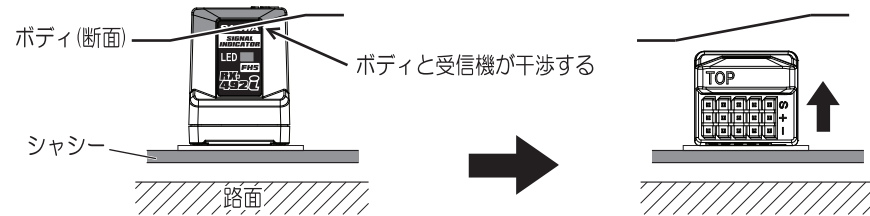


ケーブルをできるだけ低い位置に沿わせて配線してください。

⚠ 1/10以下のEPカーへの搭載方法(例外)

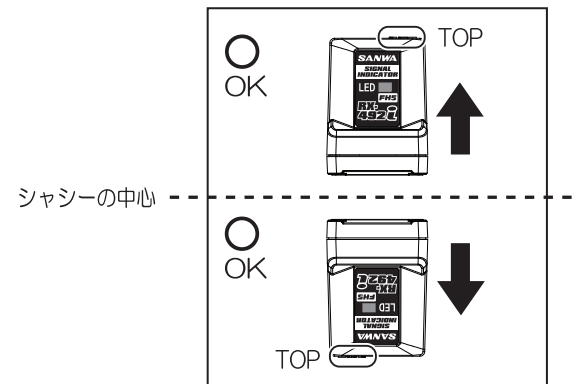
1/12 EPレーシングなど、ボディが低く推奨の方法でRX-492iが搭載できない場合は下図の方法で搭載してください。

- 受信機の取り付け面
推奨の搭載方法ではボディと干渉してしまう場合は、受信機を下図のようにラベルが上に向くように搭載してください。



- 受信機の取り付け向き
RX-492iのTOPの文字がシャシーの外側に向くように搭載してください。

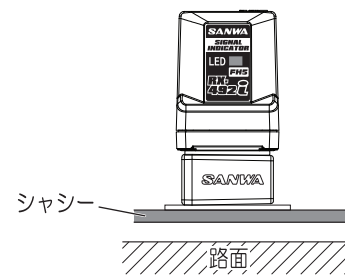
シャシーを上から見た図



⚠ ケーブルカバーの使用方法

RCカーに搭載する際に推奨の方法でも操作に対して正しく動作しない場合(受信機が正しく電波を受信できず、電波が途切れたりする場合は同梱のケーブルカバーの上に受信機を貼り付けて搭載してください。受信機を搭載する高さを上げることで、送信機からの電波をより受信しやすくなります。

- 受信機の取り付け向き
RX-492iのラベルがシャシーの外側に向くように搭載してください。



- 配線は図のようにケーブルカバーの中を通すことでケーブルがまとまり、車体への搭載もしやすくなります。

